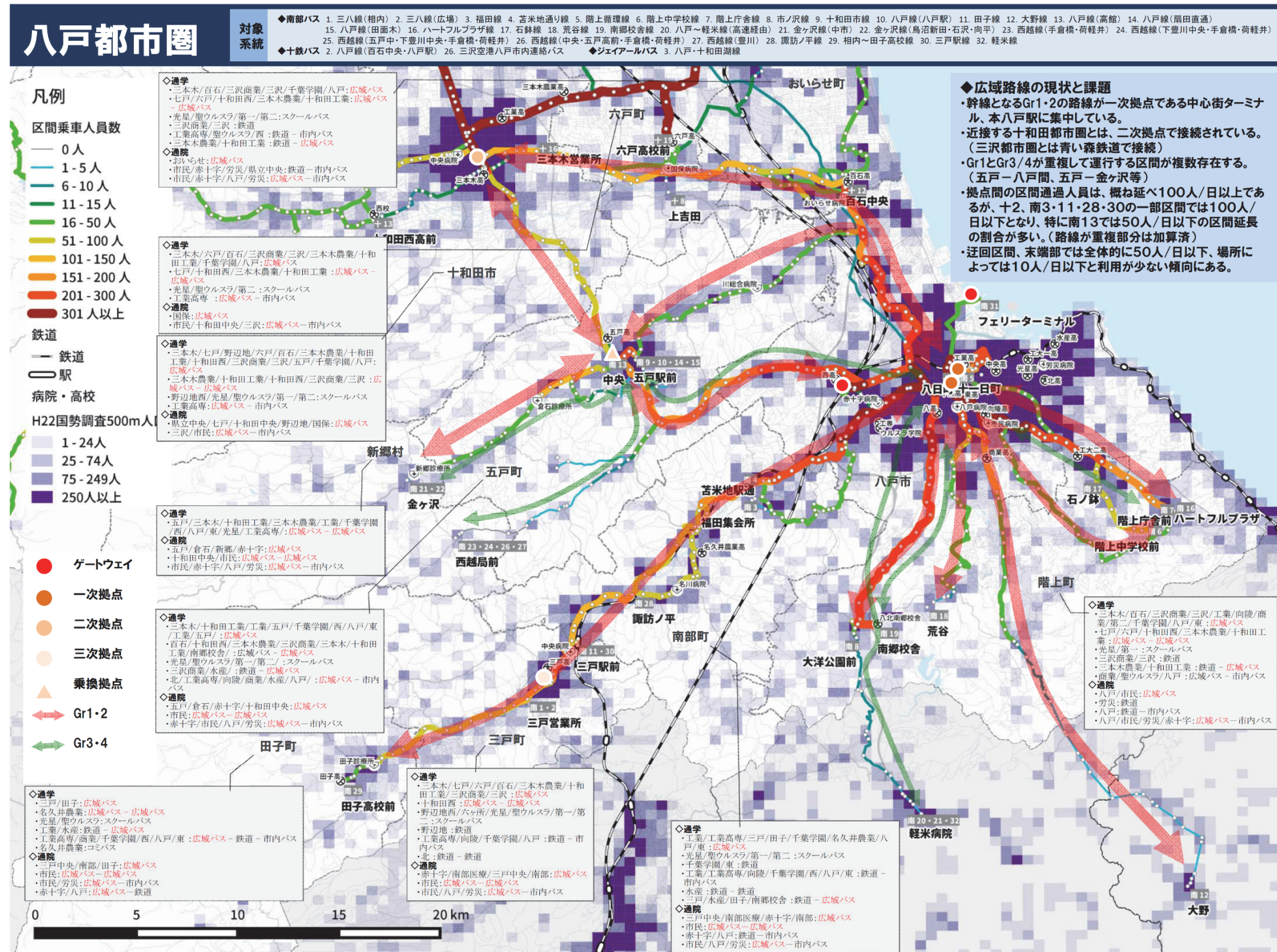


③八戸都市圏（三八圏域）

◆現状や課題

- 1) 交通ネットワーク：鉄道が八戸駅（ゲートウェイ）を中心に3方面に伸び、広域バス路線が八戸中心街（一次拠点）を中心に放射状に広がっている。八戸駅と中心街は10分間隔の高頻度のバスで結ばれている。郊外部では三戸駅・三戸営業所（三次拠点）があるほか五戸駅前が複数の広域バス路線の交通拠点となっている。
- 2) 利用のしやすさ：多くの高校が鉄道沿線になく鉄道とバスの乗継ぎが多い。通院目的ではバス間乗継ぎが多い。コミュニティバスが暮らしの足に使われている自治体が多い。
- 3) 維持・持続性：八戸市を中心に放射状の広域路線ネットワークが形成されているが、需要の限られた路線もある。

現況図



◇今後の方向

- 1) 交通ネットワーク：今後も八戸駅（ゲートウェイ）と広域バス路線ターミナルとしての八戸中心街の高頻度接続を維持する。郊外部では三戸駅・三戸営業所（三次拠点）における鉄道とバスの結節性・接続性向上策を検討するほか、乗換拠点となる五戸駅前のバス間接続に配慮していく。
- 2) 利用のしやすさ：通学や通院目的での鉄道とバス間乗継ぎに配慮し、八戸中心街に近く鉄道との乗継ぎが可能な本八戸駅（一次拠点）でのバスの結節性・接続性向上策を検討する。また、圏域のコミュニティバスと鉄道や広域バス路線等が連携し、乗継ぎ環境の向上を図る。
- 3) 維持・持続性：コミュニティバスとの並走路線や需要の限られる広域路線バスの利用促進に努め、持続性を高める。

※八戸都市圏の地域公共交通網の形成にあたっては八戸市地域公共交通網形成計画及び八戸圏域公共交通計画との整合・連携を図る。

拠点および基幹ネットワーク図

